

暮らす、生きる。 阿智家族

vol.4

熊谷 和洋さん(39) 亜由美さん(38)
悠さん(12) 穰さん(10)
瞬さん(3) 正義さん(73)
裕子さん(65) ち江さん(101)



「何のために働くの？
誰のために働くの？」という
問いかけの先に見えた
「この地域のため」という答え。



悠さん、穰さん、瞬くんの三兄弟を中心に、笑顔の絶えない穏やかな熊谷さんファミリー。悠さんは、野球の傍らレッスンを続けているヴァイオリンの演奏も披露してくれた。

何のために働くの？
誰のために働くの？

「大学を卒業したら都会のワールドワイドにビジネス展開している大手企業で仕事したいという想いが強く、当初地元に戻ってくるということは一切考えていませんでした」

地元の金融機関に勤務し、7年にわたって人事部の採用担当としてU・イターンを希望する学生や社会人の相談につけてきた熊谷和洋さん。この地域のために働きたい！と揺るぎない軸を見つけるまでに、ご自身でどんな葛藤があったのかをまず尋ねてみた。

「就職活動が始まって自己分析をしたとき、何のために働くの？誰のために働くの？」という問いかけられて、深く考えました。都会の大手企業は魅力だけれど、誰のため？と考えたときにその対象が明確にならなかった。



たんです。一方で地元の金融機関は、「この地域のため」と素直にイメージすることができました。地域に根を張り、本当にずっと皆さんのために働くことができるだろうという明確な答えが自分の中にできあがったとき、こちらに帰って就職しようと思ったのです」

飯田下伊那には素晴らしい企業がたくさんある。そのことを知ってほしい。

「採用を担当していたとき、飯田下伊那には働くところがないと言う学生さんが多かったんです。私もこちらに帰って気づいたことでもあります。技術力があつて財務内容も素晴らしい企業が地元にはたくさんあります。仕事内容で企業を選ぶのは当たり前かもしれませんが、あの企業に入れば安心だ」「あの企業なら誇り高い」といったイメージやネームバリューだけではなく、企業でどんな能力を身につけ何が実現できるのか、という視点で企業を選んでみてはどうかと思います。企業を「あてにするのではなく、企業を「活用する」という自律型キャリアを描いてほしいですね」と語る和洋さん。

移住・定住の大きなハードルでもある「働く」ということについて、長年採用や人材育成を担当してきた立場からのアドバイスは、大いに参考になるだろう。

職場の制度はもちろん、子どもたちをおじいちゃんおばあちゃんに見てもらえる環境であったことは大きいですね。

阿智村春日地区に代々居を構える熊谷家。和洋さん・亜由美さんご夫妻は、数年前に本宅脇に住まいを新築、まさにスーパの冷めない距離に暮らしていらつしやる。

3人の男の子ママである亜由美さんは、今年3月に育児制度から職場復帰されたばかりだ。

「長男の出産と同時に最初の勤め先

を退職し専業主婦になりました。もともとの私の目標は働きながら家庭を持って子育てもすること。二人目の子どもを産んで、途絶えてしまった目標をこれからどうしようかと思っているときに、現在の職場で中途採用があることを知り試験を受け再就職しました。そうして今度は産休と育児の制度を利用し3人目も産むことができました。職場の制度はもちろん、子どもたちをおじいちゃん・おばあちゃんに見てもらえる環境であったことは大きいですね」



長男の悠さんと次男の楓さんは、共に村の少年野球チームに所属。和洋さんはチームの役員として練習や試合に同行し土日は共に汗を流している。自宅の前庭では、こんなふうに親子で練習したり遊ぶことも。三男の瞬くんはお兄ちゃんたちに負けじと速い球にもものおじしません！



在職中は単身赴任生活も長かった正義さん。今は3人のお孫さんたちとの生活を存分に楽しんでいらつしやる。「孫というのは本当にかわいい。孫と一緒に生活できることは幸せだし、息子夫婦も私たちに子どもを見てもらってしっかり仕事ができている。持ちつ持たれつということでしょう。こうしてつながっていることは本当にいいことだと思いますね」

娯楽が少なく、思われがちですが、そうでもないと思いますよ。

阿智村で暮らすことについて和洋さん、亜由美さんそれぞれに想いを聞かせていただいた。

「都会と比べて自分の空間が広く感じられ、土日は家族でキャンプや旅行に出かけ、すぐ隣に親がいてお盆や正月だけでなくいつでも家族でゆっくりでき、子どもがのびのびと成長できる環境だと思います。田舎は娯楽が少なく、思われがちですが、そうでもないと思いますよ」と和洋さん。

「私は、ここで子育てできて本当によかったと思っています。子どもたちもそれぞれ進路を選択するうえで二度は外へ出ることになると思いますが、いつか『阿智で育って良かったなあ。やっぱり阿智はいいなあ。』と思ってくれたらうれしいですね」と亜由美さん。

**熊谷さんは
若者定住支援金制度を
利用されました！**

阿智村役場
定住支援センター小林です



**定住を希望する
若い世代をバックアップ！**



阿智村の定住者支援・補助制度には、大きく5つのカテゴリーがあります。

若者定住支援金や集落定住支援金など「家を建てる」場合の補助。お試し暮らし用の住宅準備

や、村営住宅の空き家情報など「家をさがす」場合の支援。空き家の簡易な改修などに適用されるぬくもりの田舎暮らし推進事業補助金や住宅リフォーム推進事業補助金など「家をなおす」場合の補助。その他に「農業ではたらく」新規就農者を応援する事業。Iターン受け入れ集落支援金や子育て環境支援、ハローワーク求人情報など「仲間をふやす」ことへのバックアップなど、さまざまな補助と支援を行っています。

村の補助金の多くは、Iターン者のみならず、すでに村内に生活している方にも同じようにご利用いただけます。また年度によって支援事業の内容も変わります。詳しくは阿智村役場定住支援センターまで、お気軽にご相談ください。



対象
阿智村に定住目的で宅地や空き家を取得、住宅を新築または増改築する20～40歳の方。

補助額

- ①住宅用地・中古住宅の取得
【補助率】取得金額の3分の1 【限度額】……→ **100万円**
- ②住宅の新・増・改築
【補助率】建築工事費の10分の1
【限度額】A新築 ……………→ **100万円**
B新築 ……………→ **120万円**
(村内事業者との請負契約、または建築にかかる2業種以上で村内事業者が工事を施工し、その工事費が100万円以上かつ1業種が30万円以上の場合)
C増改築 ……………→ **50万円**
D増改築 新築Bの条件の場合 ……………→ **70万円**

この補助金も加えて利用！

集落定住支援金 41～50歳の定住者へ

41歳～50歳の方の場合は、金額は減りますが現状の集落を維持していただくための「集落定住支援金」制度があります。なお、高齢化率が40%以上の集落で家を増改築などとする場合は、年齢制限がありません。

※2017年4月1日からの定住者支援・補助内容です。詳しくは下記まで。



星ふるさと
阿智村
日本一の星空と
花桃と湯の郷

“定住”に関するご相談・お問い合わせはお気軽に

阿智村役場 定住支援センター まで

☎0265-43-2220 (内線513)

〒395-0303 長野県下伊那郡阿智村駒場483

FAX0265-43-3940 teijyu@vill.achi.nagano.jp

http://www.vill.achi.lg.jp



http://www.vill.achi.lg.jp/site/teijyu/

阿智家族 検索



阿智家族パンフレット
総合版④、カジュアル版①



ホームページ

詳しくはパンフレット、ホームページをご覧ください！

阿智村役場にお越しになれない方は、住所・氏名・年齢・職業を明記の上、左記までお申し込みください。